



亀井 洋示

不屈

No. 562 附録

治安維持法犠牲者
國家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp
額面 50円

兵庫版 No.445

治安維持法犠牲者
國家賠償要求同盟
兵庫県本部
〒650-0022 神戸市
中央区元町通6丁目6-12
山本ビル 国民救援会内
TEL(078)351-0677
FAX(078)371-7376

「政治を変える共同」にむけ「個の力」をもっと強く

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 兵庫県本部会長

岡 正信

「自民党の議員達は、庶民が自肅しているのに、自分たちは銀座で遊び歩いていました。それどころか、国の役人が業界から接待賓客になつていてはいけませんね。仏教の教えで『忘己他利』という言葉があります。自分を忘れて他人に尽くすという意味です」「私は、政治の世界でこれを貫いていますあなたがた、共産党ではないかと思うのです」瀬戸内寂聴（瀬戸内寂聴）。日本共産党近畿ブロックオンライン演説会でのメッセージです。志位和夫委員長は、菅政権の特徴について、①強権政治、②政権担当能力なし、③安倍前首相ゆずりの政治モラルの退廃―総務省幹部接待問題を取り上げ、「魚は頭から腐る」、腐敗一掃にはこの国の『頭』を変える、菅政権、自民・公明と「維新の会」に「さよなら」の審判を訴えました。

政治学者・渡辺治さんは、「全国革新懇ニユース」4月号のインタビュー「連合政権の実現との先へ、本気で力の発揮を」のなかで、「政治を変える共同」という新たな目標実現には、「労組や平和、社会保障などの運動団体の力量を、新しい政治をつくるという。革新懇の新たな目標に合わせてバージョンアップしていく」「チームが強くなるには、『個の力』をもつと強く」と訴えています。「国賠同盟」は、「同盟躍進期間（4・1～5・31）」を設定、5・12国会請願行動と総選挙勝利へ会員1、100人、署名1万5千筆めざし、「『個の力』をもつと強く」と奮闘する決意です。



前支部長戸崎 曽太郎さんが逝去され1年半、支部体制の強化をはかるうと新たな世話人で相談してきました。支部総会を3月21日(日)アステップKOB Eで13名の参加で開催しました。当日、強い雨が降り予定されていた2~3人が参加できず。

一部ではDVDが映らないアクシデントもありましたが、田中隆夫県本部副会長の「川崎・三菱大争議から学ぶ」を熱い語りで学習しました。

日本最初の「婦人政談演説会」や自由法曹団、農民組合等々の現代の民主団体の前身が作られていったこと。感想では100年も前に3万人以上のデモ、闘争があつたことに驚き。こんな歴史知らなかつた勉強になりました。次の時代につなげていかな・・・。

二部の方針提案では、会員拡大は当面100人をめざし年間目標120とするなど、討論では、この間40人も拡大した高山さんの経験「気軽に声かける」「断られても元々の教訓や、機関紙の配達で協力をお願いしたい等意見が出されました。

「ジェンダー」とは、「社会的文化的性差」と定義されます。私は、もの心ついてからずつと、女であることの息苦しさを感じてきました。なぜなの、女に生まれたのは私が願つたからではないのに、なぜ・・・。

「女、子どもはあつちにいつておけ」、「女が口出しするな」、「女に学歴はいらん」、拳句、「女は大口あけて食べたり笑つたりするな」、「男の前を歩くな・・・」等々。

千人近くの女性労働者が二交替で働く半導体の製造現場に就職しました。

そこではさらに酷い差別に遭い、ずっと後に、よく分からぬままに「ジェンダー」という言葉を知ります。

(蓮山 文子)

ジェンダー

私の思い—リレートーク

神戸中央支部総会

(3月21日)

した。

新役員は、支部長 渡部 昌

武、事務局長 高山 立、財政 南

山 隆史、世話人 若干名。

(南山 隆史)

県本部第39期 第8回幹事会報告

「コロナ禍に打ち勝ち 衆議院総選挙等勝利をめざす 同盟躍進期間(4/1~5/31)」の成功を

—1100人の県同盟を建設しよう—

第8回幹事会は3月26日開催されました。

総選挙をめぐる情勢を受け、中央本部が提起した「同盟躍進期間(4月1日~5月31日)」、5月12日の国会請願行動への参

加など、当面の活動方針を討議しました。また、3月21日に行われた中央支部総会の報告をはじめ、支部ニュース発行など各

支部の活動交流も行われました。また、ジェンダー平等問題

への取り組み、長田区における戦前の活動発掘と支部建設の展望なども報告されました。

支部の活動交流も行われました。また、ジェンダー平等問題

への取り組み、長田区における戦前の活動発掘と支部建設の展望などを報告されました。

【当面する課題】

「同盟躍進期間」は、会員1100人への到達をめざす会員拡大と「国会請願署名」の推進を柱に、各支部目標の総達成をめざす方針を確認しました。

「川崎・三菱大争議100周年」連載を力に、各団体へ訪問、懇談、申し入れを強めます。

劇映画「伊藤千代子の生涯(仮題)」。

第9回常任幹事会は、5月7日(金)午後1時30分から、「兵庫文化クラブ」で行います。区の「平和と労働会館」で行います。

署名は5月8日(土)までに県本部へ送付してください。

第9回常任幹事会は、4月26日開かれ、「同盟躍進期間」推進、国会請願への代表派遣、4月

19・20日の「近畿ブロック全国役員、各府県会長・事務局長会議」への参加などについて確認しました。

第74回無名戦士合葬・追悼募金へのお礼

今年も新型コロナ対策のため追悼集会は中止でしたが、全国で1044名が合葬されました。2月末現在、54名の方々から151,000円の募金が寄せられ、実行委員会に収めました。ご協力ありがとうございました。

井上みわ子	長田	井上豊	田中隆夫	萩上好恵	淡路	鎌塚俊子	成山太志
樺原 実	長田	喜田照和	田中隆夫	長尾肅正	須磨	岡 正信	浦田俊夫
河村由美子	高砂	小松美紀江	喜田照和	山戸義治	長田	藤原紀嘉	北 祝 教允
長谷川智子	高砂	北山廣子	田中隆夫	藤沢 博	中央	南山隆史	成山昌子 中央 (兵庫)
二木邦子	高砂	田中隆夫	喜田照和	・	・	・	・

【訂正】2月号の入会者紹介のお名前が間違っていました。山口泰三ではなく山口泰造さんです。お詫びして訂正します。

日本最初の女性演説会 (13)

朝倉はじめ

小見山富恵の実際の活動を見聞きした人の証言である。

木村京太郎（奈良県南葛城郡小林村、現在御所市出身。1922年4月、小林水平社を結成、差別糾弾事件で水平社部落解放運動逮捕者1号、全国水平社本部常任となる。住井すゑ作「橋のない川」主人公のモデル）の証言。

木村死去の2週間程前、兵庫県部落問題研究所事務局長鳥飼慶陽のインタビューで、最後の証言だ。要約し紹介する。



木村京太郎

賀川ハルと小見山富恵④

新婦人協会神戸支部の設立と活動・その7

そうではなく、生きているうちに生きがいある生活をしようとかして国民の生活や考え方を変えようと運動を進めた。な

神戸に全国から転入して、私

県小林からは、半分の人口以上が、造船と貿易の中心地神戸の街に散在した。その中心は新川と周辺だ。小学校を卒業し（1916年から水平社に入る1922年まで）縁故をたより、よく遊びに行つた。

私の生涯を一変させたのも、

肺病で命を顧みず伝道生活に入つた賀川豊彦の『死線を越えて』だ。私も胸を悪い、自分は死しても、の覚悟で青年団活動に打ち込んだ。自分の病気を治

戸に入った。兄貴も親類も一家あげて神戸に転住。

奈良の小林の人たちの住んでいる葺合区が、賀川豊彦の伝道中心地で、伝道以外に消費組合や觉醒婦人協会を作つた。小見山富恵さんもそれに引き付けられ、新川で1年余り、賀川さん、特にハルさんと親しく、機関誌の編集に当たつた。

1923年9月1日関東大震災の救援で豊彦が東京へ移り、小見山さんも呼ばれ東京へ。豊彦は、改造社の山本実彦に紹介状を書き、雑誌『女性改造』の当時の左翼婦人記者になり、堺

利彦、山川均、荒畠寒村と知り合い、社会主義者高橋貞樹と夫婦になつた。

奈良の小林の人たちが、神戸

で労働者として、米騒動、川崎・三菱大争議で、労働運動と接觸・合流し、水平社運動へ立ちあがる過程がよくわかる。

この中で、富恵は、神戸で女性労働者の不況下の深刻な実態をつぶさに触れ合い、要求を組織し、闘い成長していく。戦後、富恵はこの東京行の経過を証言する。

「私は実はマルクス主義を信奉しているのに賀川先生を偽り、あまりに大切にしてくださいるのが苦しい、そこで東京へ行きたいと言つた。それで、改造社に入社、『婦人公論』に対抗する雑誌の記者になつた。」

こうして、富恵は、山川均の「水曜会」に入り、科学的社會主義を深く学ぶことに。そこで知り合う高橋貞樹とは、1923年の最初の共産党への弾圧で、彼を匿つた時、関東大震災となり共に大阪へ避難することになる。

◇ ◇ ◇
「私の生まれた奈良